

# 母子保健部会からの報告

地域保健課

# 船橋市地域保健推進協議会 母子保健部会委員

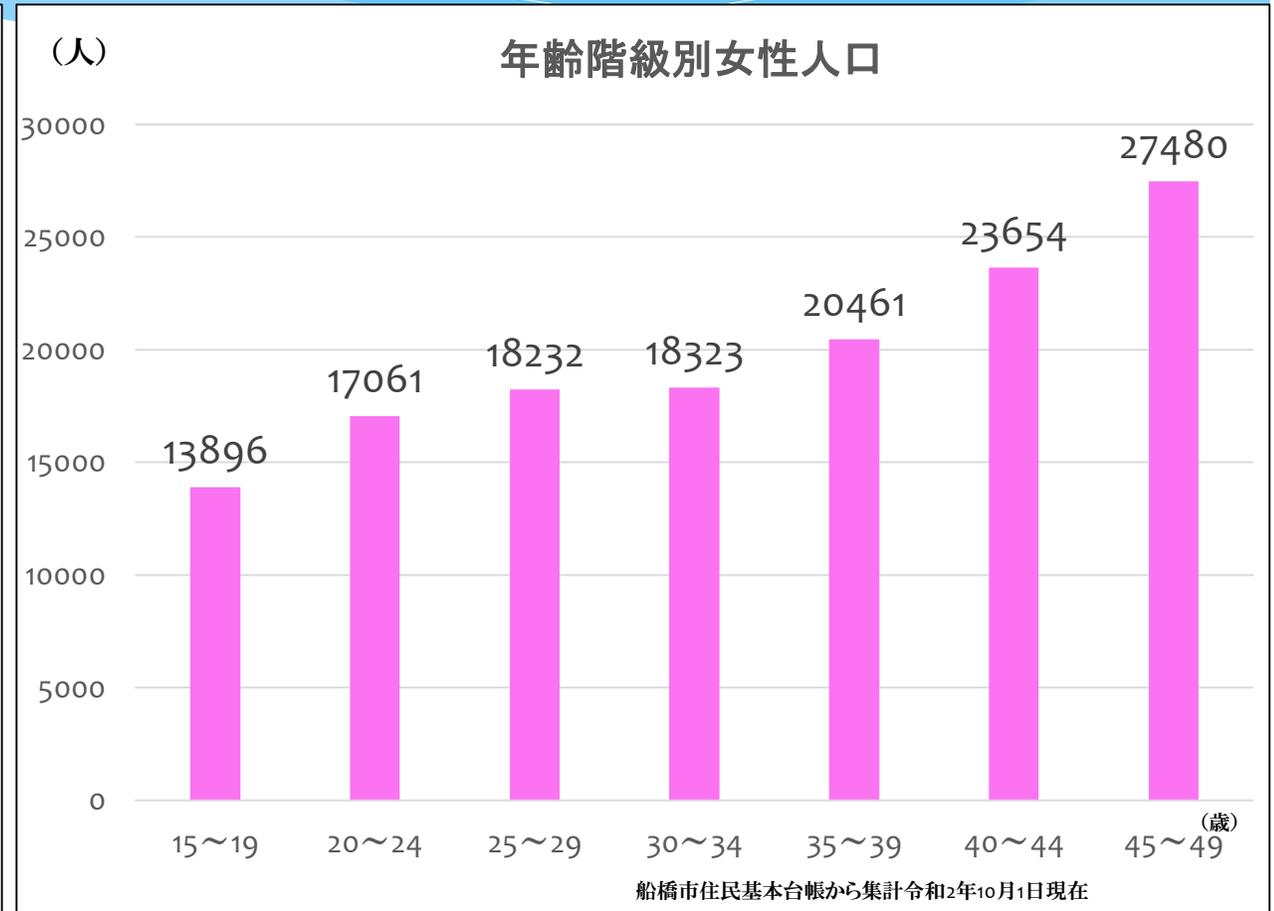
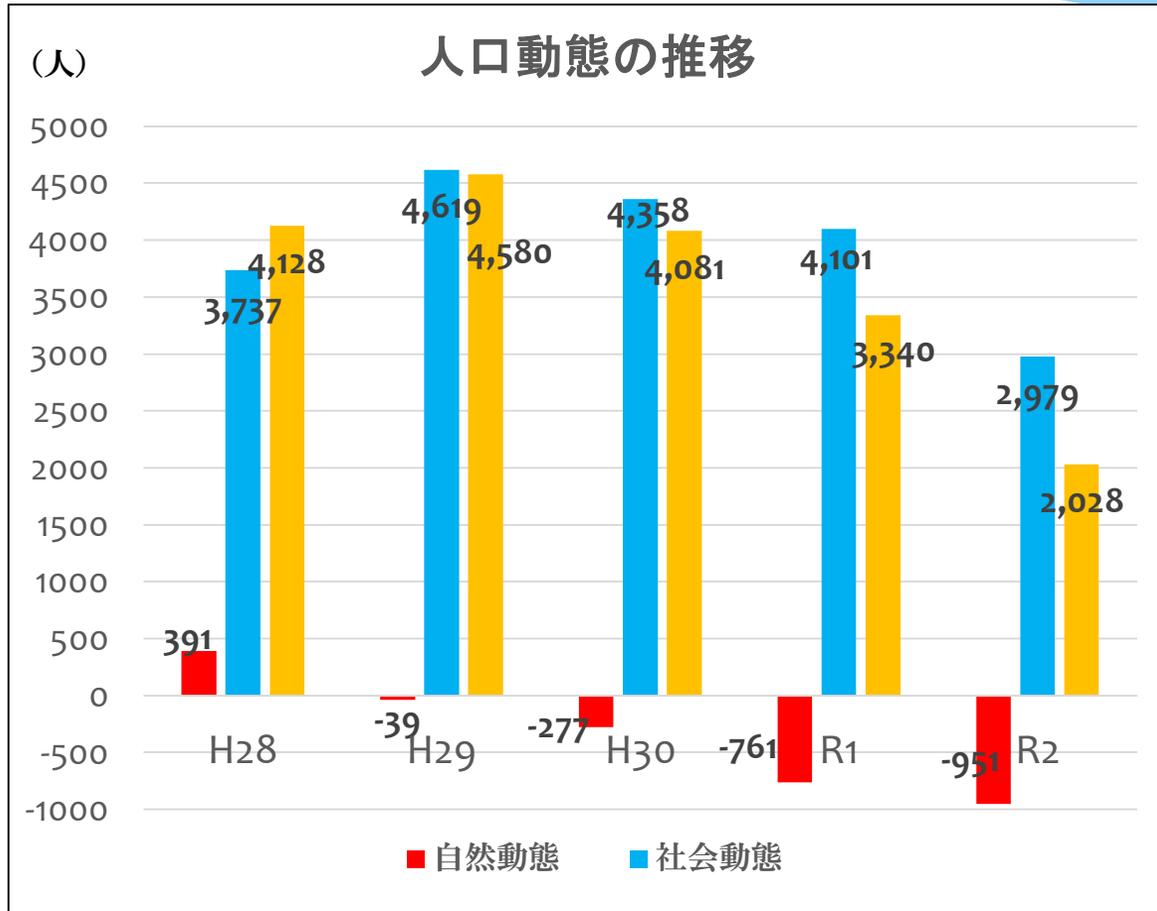
所属団体・部署	役職	氏名	所属団体・部署	役職	氏名
国立大学法人 山梨大学大学院 総合研究部医学域教授	教授 (医師)	山縣 然太朗 (部会長)	公益社団法人 船橋歯科医師会	理事	谷 博司
船橋市立二宮小学校	校長	中野 誠	船橋市栄養士会	理事	馬場 さつき
船橋市立三山中学校	養護教諭	今井 美子	一般社団法人千葉県助産師会 船橋地区部会	副会長	佐藤 美保子
一般社団法人船橋市医師会	参与	小口 学 (副部会長)	船橋市民生児童委員協議会	理事	染谷 菊子
一般社団法人船橋市医師会	理事	松本 歩美	船橋市私立幼稚園連合会	会長	田中 善之
一般社団法人船橋市医師会	会員	山口 暁	千葉県市川児童相談所	次長兼 船橋支所長兼 主席 児童福祉司	三田 茂男
一般社団法人船橋市医師会	会員	加藤 英二	NPO法人世界のともだち、ホームスタート・しゅっぱぽ	代表	二宮 美鈴

# 令和3年度の開催日及び議事

開催日 令和3年11月4日(木) オンラインにて実施

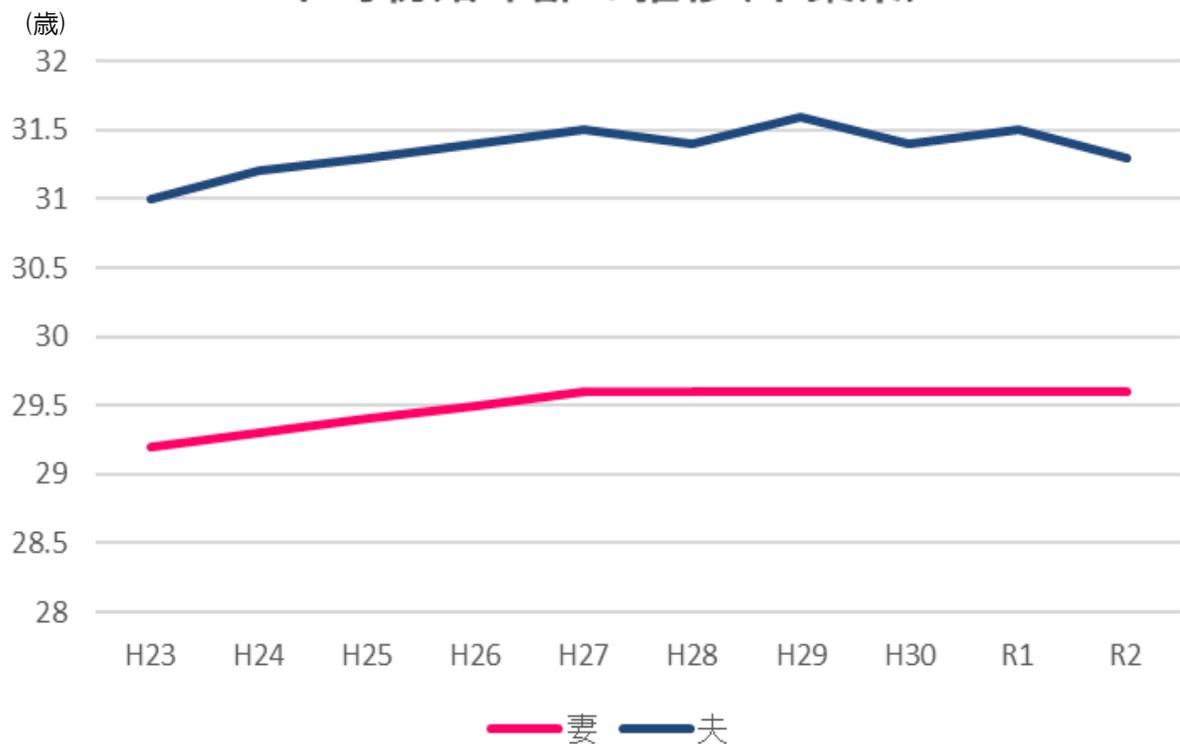
- 議事
1. 令和2年度船橋市母子保健事業実施報告について
  2. 船橋市母子保健計画令和2年度進捗について
  3. 通所型産後ケア事業の導入について
  4. 妊婦一般健康診査について
  5. コロナ禍における各団体の活動及び対応状況について

# 1. 船橋市母子保健事業の報告について（人口動態統計①）

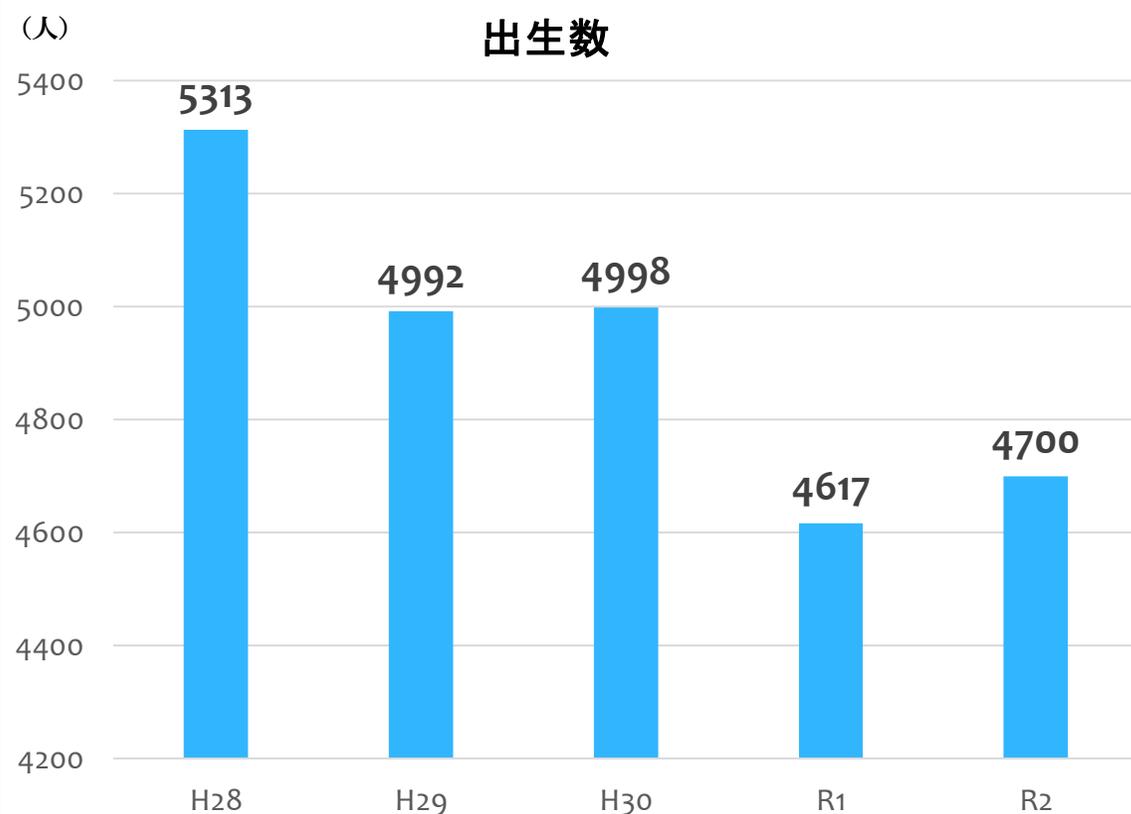


# 1.船橋市母子保健事業の報告について（人口動態統計②）

## 平均初婚年齢の推移(千葉県)

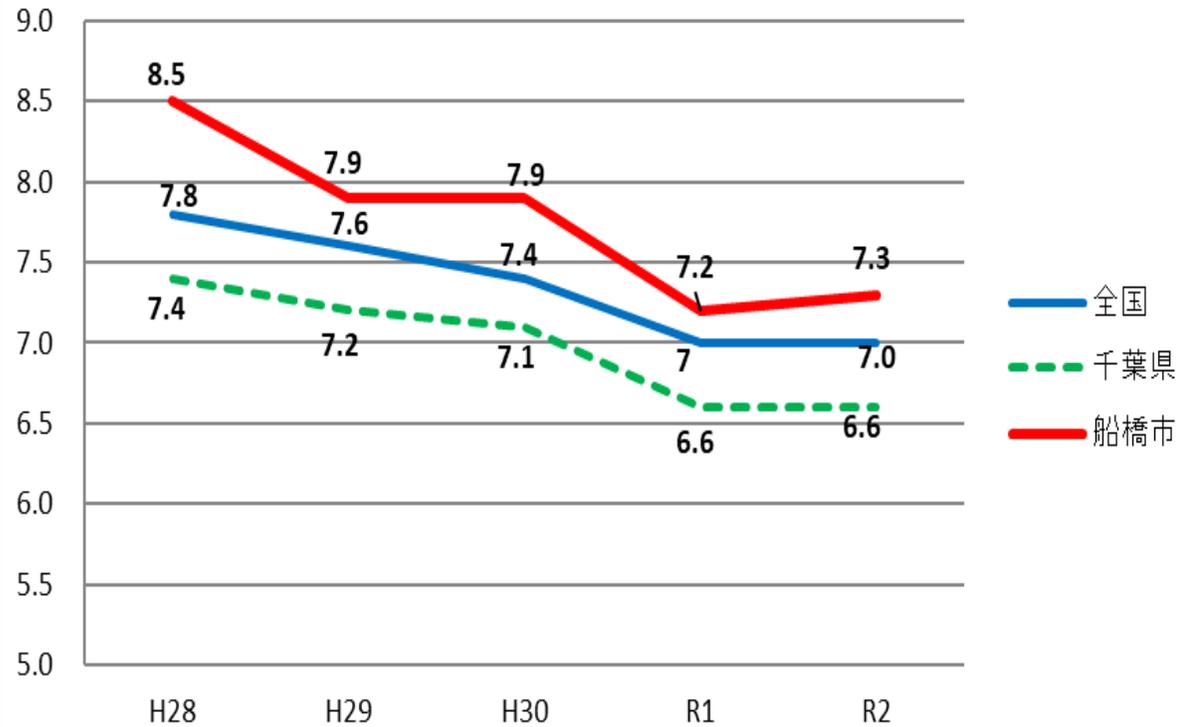


## 出生数

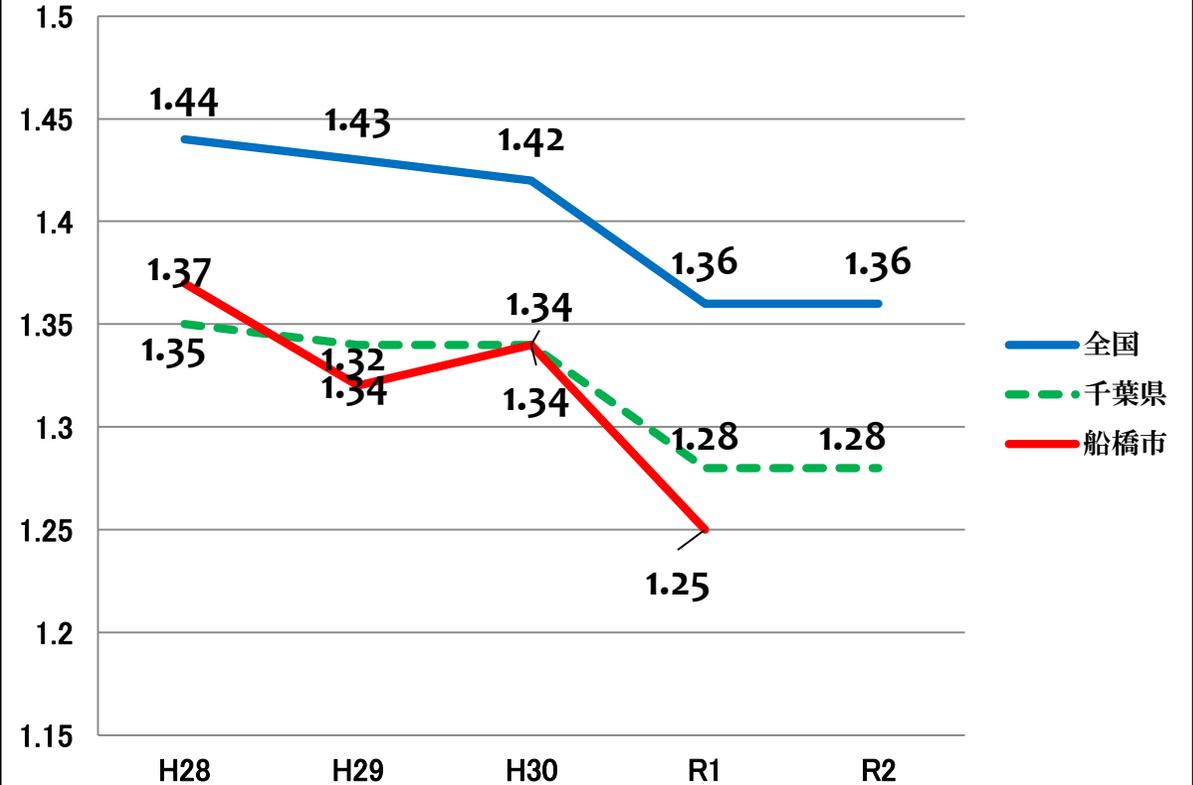


# 1. 船橋市母子保健事業の報告について（人口動態統計③）

## 出生率 (人口千人対)

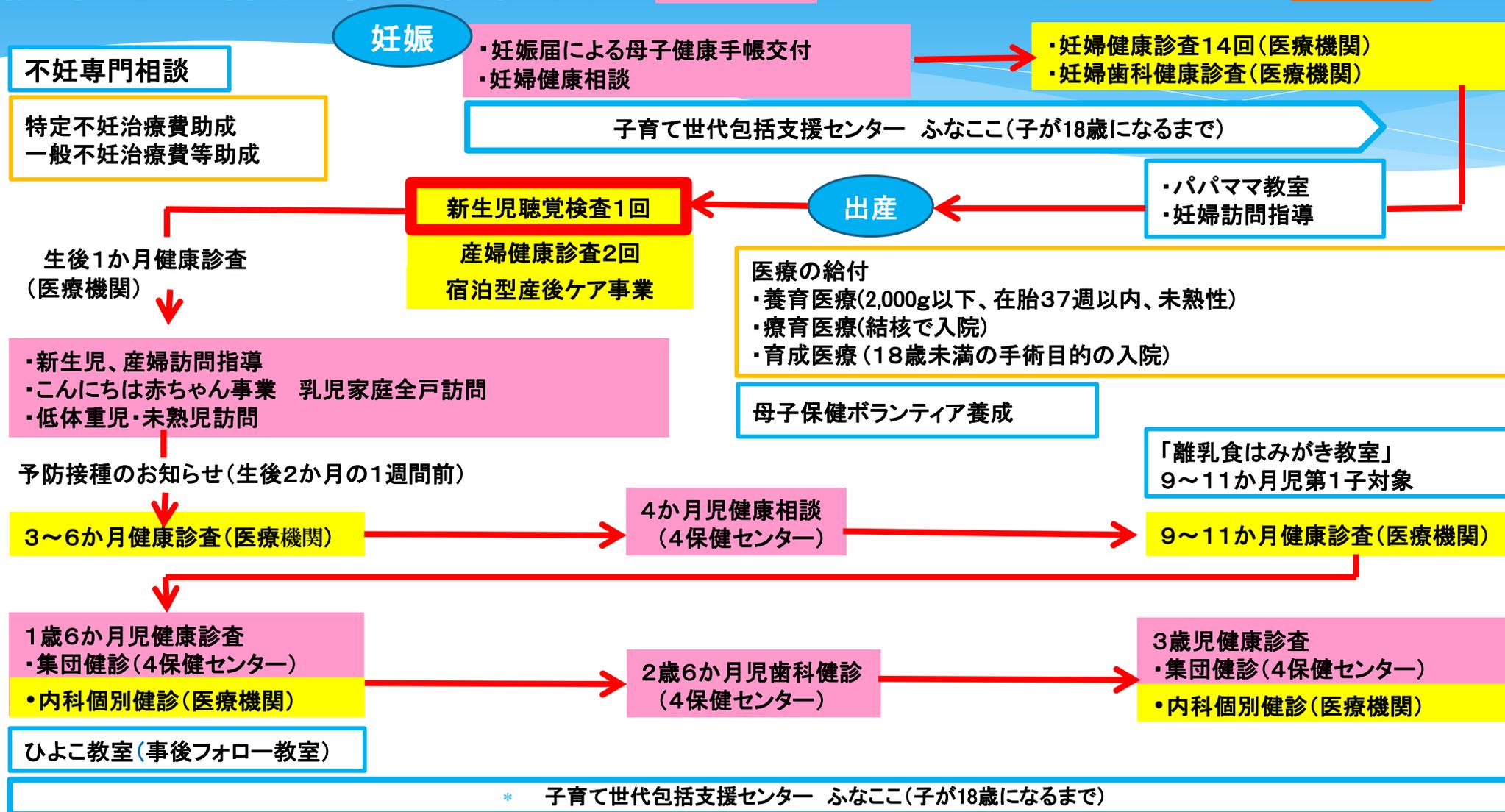


## 合計特殊出生率



# 1. 船橋市母子保健事業の報告について（母子保健事業実績①）

## 船橋市母子保健事業概要図（ 全数把握 医療機関委託 医療費助成給付 新規事業 ）



# 1. 船橋市母子保健事業の報告について（母子保健事業実績②）

## 妊婦面接等

	妊娠届出数 (件)	面接率 (%)	
平成30年度	4,919	99.98	郵送1件
令和元年度	5,026	99.98	郵送1件
令和2年度	4,731	99.98	郵送1件

## 母子健康手帳と別冊



# 1. 船橋市母子保健事業の報告について（母子保健事業実績③）

## 妊婦健診

	受診票交付数(件) (a)	健診受診件数(償還含)(件) (b)	平均受診数(件) (b/a)
平成30年度	4,919	60,245	12.2
令和元年度	5,026	59,701	11.9
令和2年度	4,731	55,416	11.7

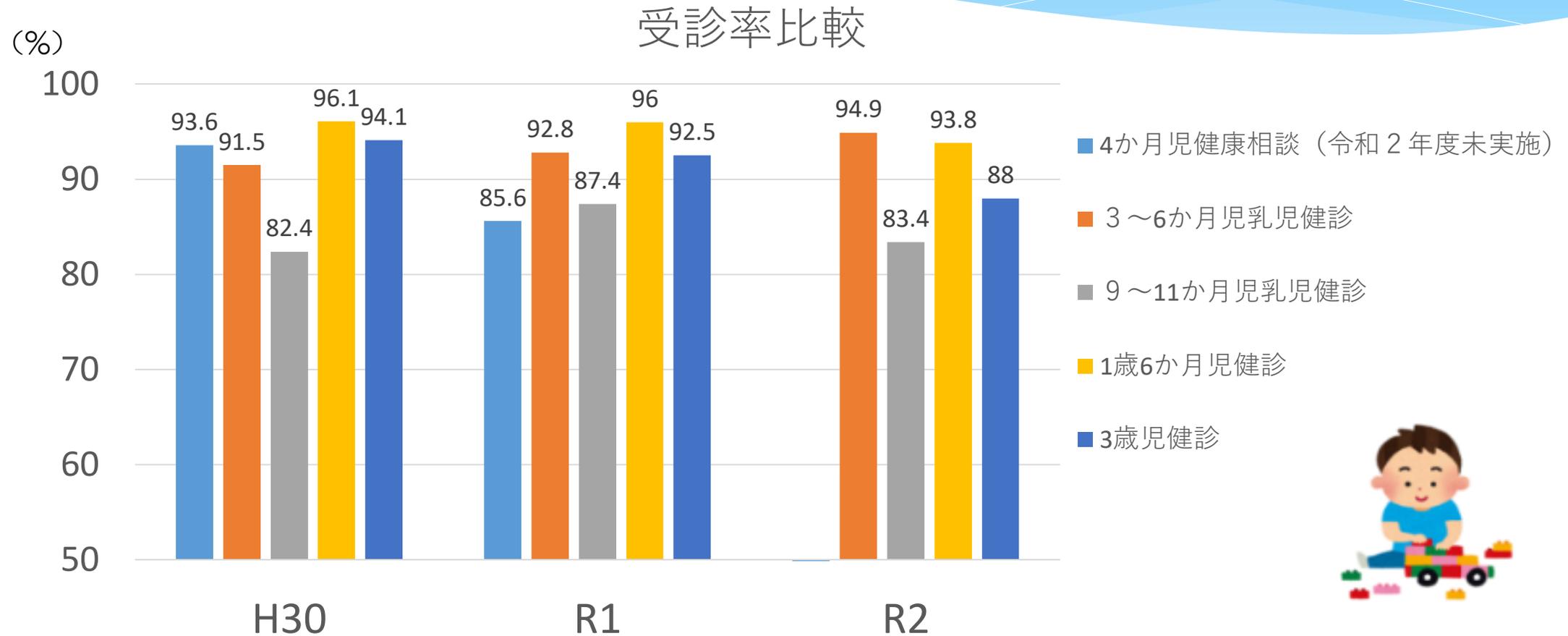
## 産婦健診

	出生数 (件)	2週間健診		1か月健診	
		受診件数	受診率	受診件数	受診率
平成30年度	2,350	1,367	58.17	1,765	75.1
令和元年度	4,744	2,896	61.04	3,788	79.85
令和2年度	4,485	2,385	53.18	3,718	82.9



平成30年度は平成30年10月～平成31年3月、令和元・2年度は4月～翌年3月までのデータ。

# 1.船橋市母子保健事業の報告について（母子保健事業実績④）

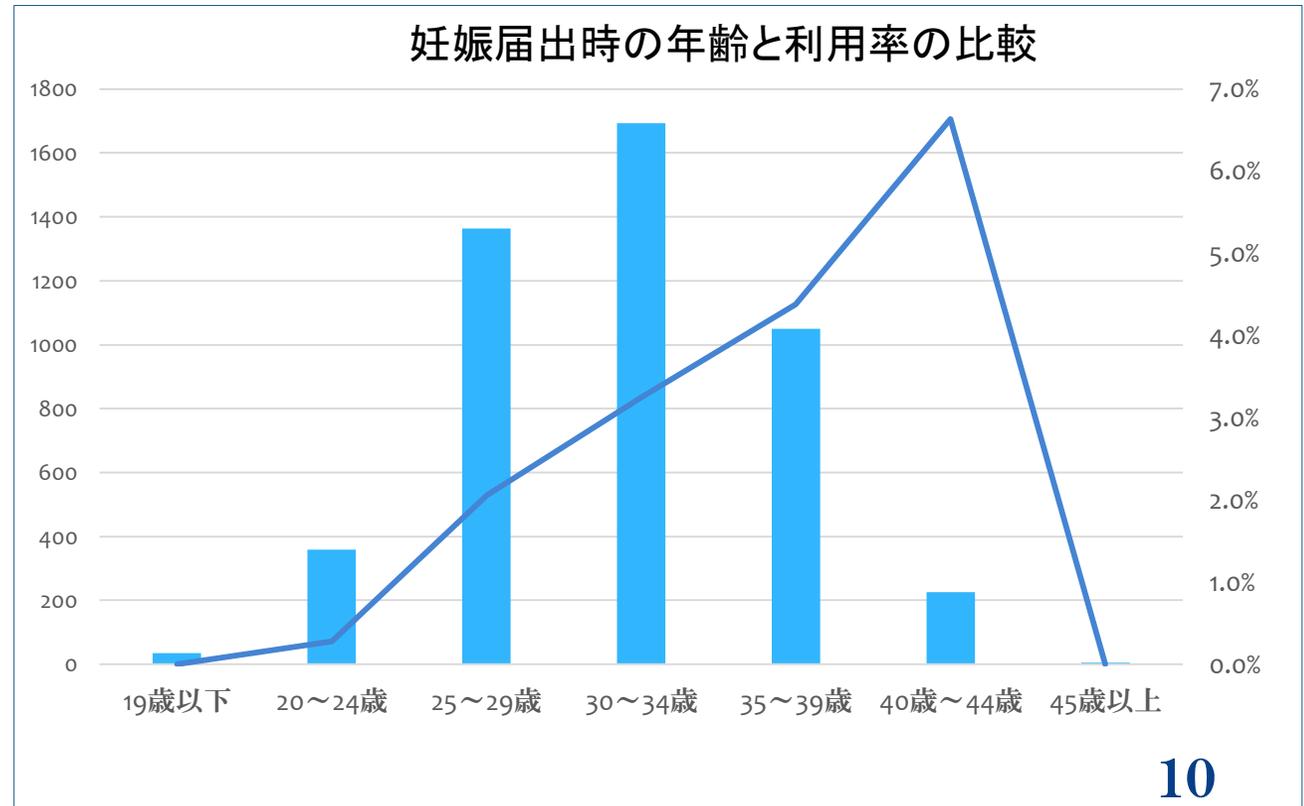
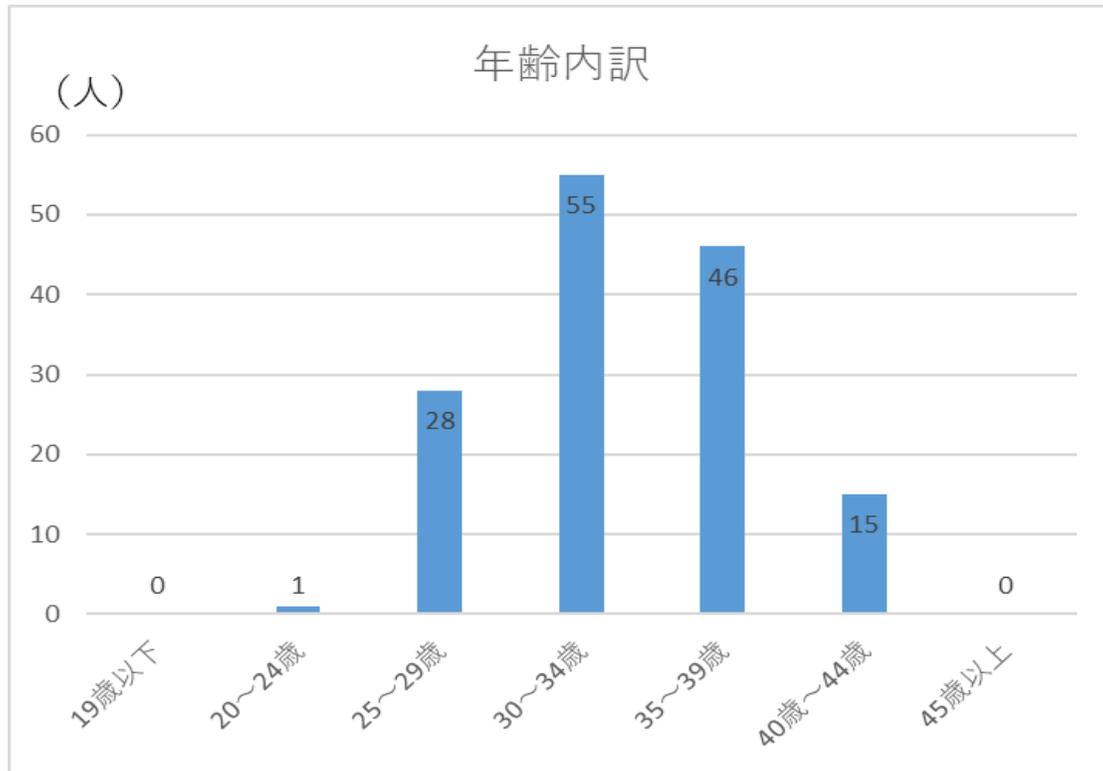


# 1. 船橋市母子保健事業の報告について（母子保健事業実績⑤）

## 宿泊型産後ケア



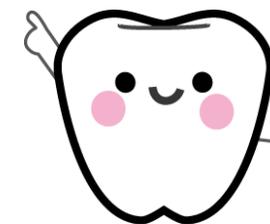
	申請数	利用数
平成30年度	110	103
令和元年度	113	105
令和2年度	161	145



# 1.船橋市母子保健事業の報告について（母子保健事業実績⑥）

## フッ化物洗口事業

	学校数	クラス数	実施者数
平成30年度	54	525	15,513
令和元年度	54	681	20,189
令和2年度	—	—	—



## 2.船橋市母子保健計画令和2年度進捗について



### 船橋市母子保健計画

# すこやか親子ふなぼし



#### 基本理念

すべての子どもが健やかに育つまち船橋

- 基盤課題A 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策
- 基盤課題B 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策
- 基盤課題C 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり
- 重点課題① 育てにくさを感じる親に寄り添う支援
- 重点課題② 妊娠期からの児童虐待防止対策
- 重点課題③ 事故予防対策の推進

すべての子どもが健やかに育つまち船橋



## 2.船橋市母子保健計画令和2年度進捗について

評価指標（一部抜粋）

### 母子保健計画の指標と評価

指標	ベースライン	令和2年	評価	目標値
妊娠・出産に満足している割合	80.8%	71.8%		85%
3歳児健康診査時点での予防接種完了率	67.9%	69.3%		70%
フッ化物洗口事業を実施している小学校のクラスの割合	49.1%	未実施		100%
この地域で今後も子育てしていきたいと思う保護者の割合	94.6%	94.9%		98%
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合	4か月児:90.9% 1歳6か月児:81.7% 3歳児:71.5%	4か月児:89.3% 1歳6か月児:84.8% 3歳児:75.6%	 	4か月児:93% 1歳6か月児:85% 3歳児:75%
育児が楽しいと思える保護者の割合	4か月児:90.8% 1歳6か月児:85.6% 3歳児:77.1%	4か月児:91.2% 1歳6か月児:84.7% 3歳児:77.0%	 	4か月児:95% 1歳6か月児:90% 3歳児:80%
体罰や暴言等によらない子育てをしている保護者の割合	4か月児:89.7% 1歳6か月児:74.8% 3歳児:56.6%	4か月児:91.3% 1歳6か月児:78.6% 3歳児:61.1%		4か月児:100% 1歳6か月児:78% 3歳児:60%
事故予防に気をつけている保護者の割合	13.9%	17.6%		30%

### 3.通所型産後ケア事業の導入について ～令和4年度からの導入に向けた検討～

#### 「船橋市母子保健計画」での位置づけ

基盤課題C	切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策
課題の説明	親子が孤立することなく、子どもが健やかに成長できるまちを目指す。
目 標	(健康水準) 船橋市で子育てしたいと思う保護者が増える (環境整備) 妊産婦にやさしい地域づくりができる
評価指標	(健康水準) この地域で今後も子育てしていきたいと思う親の割合。 (環境整備) 産後ケア事業の実施種類 ※5年後「通所型」「訪問型」も実施

## 3.通所型産後ケア事業の導入について ～令和4年度からの導入に向けた検討～

### ◆協議内容・結果

**【内容】**部会開催前に①～⑤について母子保健部会構成員に意見聴取。意見を踏まえての方向性を説明

- ①「通所型(デイサービス)」の実施について
- ②「通所型(デイサービス)」の対象について
- ③「通所型(デイサービス)」の内容について
- ④「通所型(デイサービス)」の自己負担金について

### **【結果】**

- ①「個別対応型」で実施。
- ②委託医療機関について、産科医療機関に加え小児科医療機関の参入の可能性あり。「生後1年未満」で検討。
- ③必須項目として「利用時間7時間程度」「母親の食事提供」「母親がお昼寝もできるスペース(ベッド)の確保」「助産師による授乳・育児状況の把握と相談」。可能な施設があれば、オプションとして「送迎」「兄弟同伴」独自対応。
- ④委託料金の設定と併せて財政部局と今後検討。生活保護世帯、市民税非課税世帯についての減免措置は対応。

## 4 妊婦一般健康診査について

### 【船橋市の経緯】

平成 9年 母子保健法の一部改正により、実施主体が県より市に移譲

平成20年 雇児母発第0116001号厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知  
「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について」 施行に伴い「妊婦一般健康診査」の公費負担回数を2回から5回へ拡充

平成21年 「妊婦一般健康診査」の公費負担回数を5回から14回へ拡充

【妊婦健診の実情】 市内産科の先生より、妊婦健診を14回を超えて出産を迎える妊婦が3割位いるという実態があるのご意見をいただく

【4か月児健康相談】 問診票の集計から、妊娠週数が40週を超えて出産を迎える方が3割程度だったことが判明

## 4.妊婦一般健康診査について

### ◆協議内容・結果

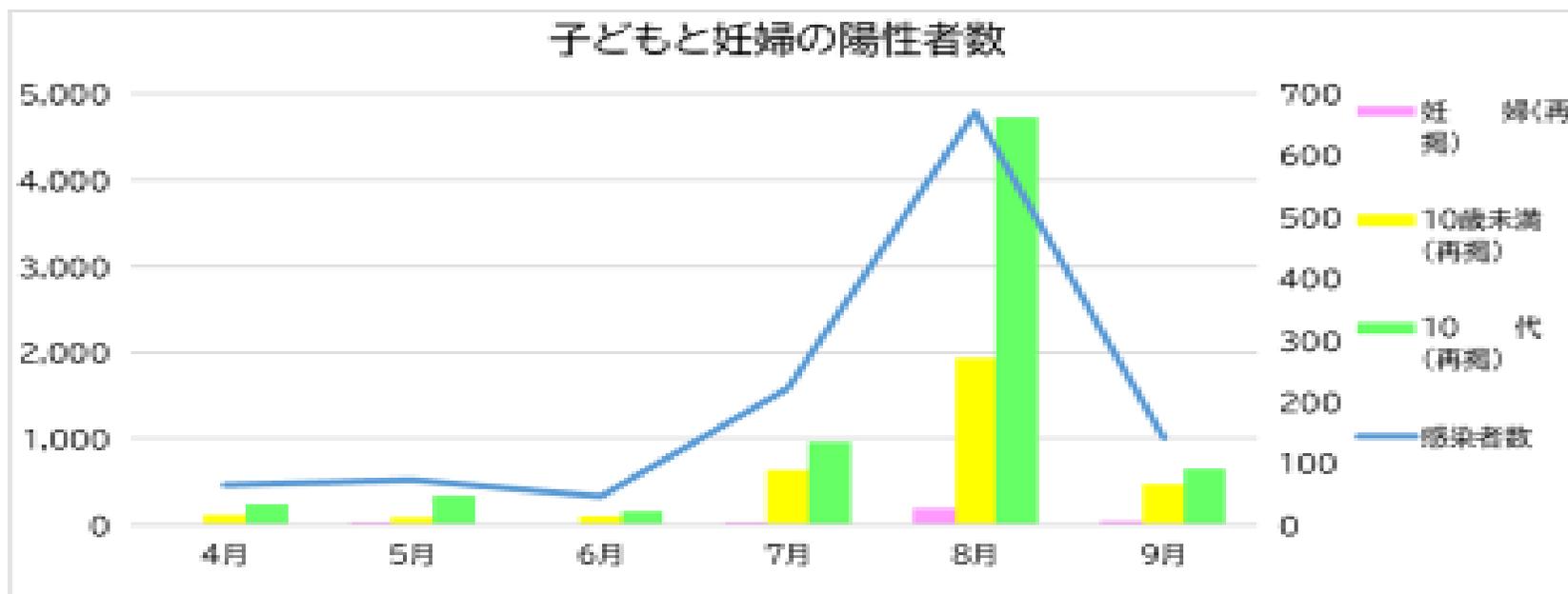
**【内容】**妊婦健康診査が14回になったのは、妊婦健康診査を受ける方の平均回数が参考となっている。そのため、14回よりも少ない人も、多い人もいるのは当然のことである。超えている分を公費で助成する仕組みを創設できないか。

**【結果】**出産までに妊婦健康診査を14回超えて受けている方がどういう状況の方々なのか実態を調査して、14回を超えている方に対する支援の在り方について検討する。

## 5.コロナ禍における各団体の活動及び対応状況について

子どもと妊婦陽性者数・月別分布（2021年4月～9月判明8,732名分）

妊婦…48人 10歳未満…471人 10代…994人

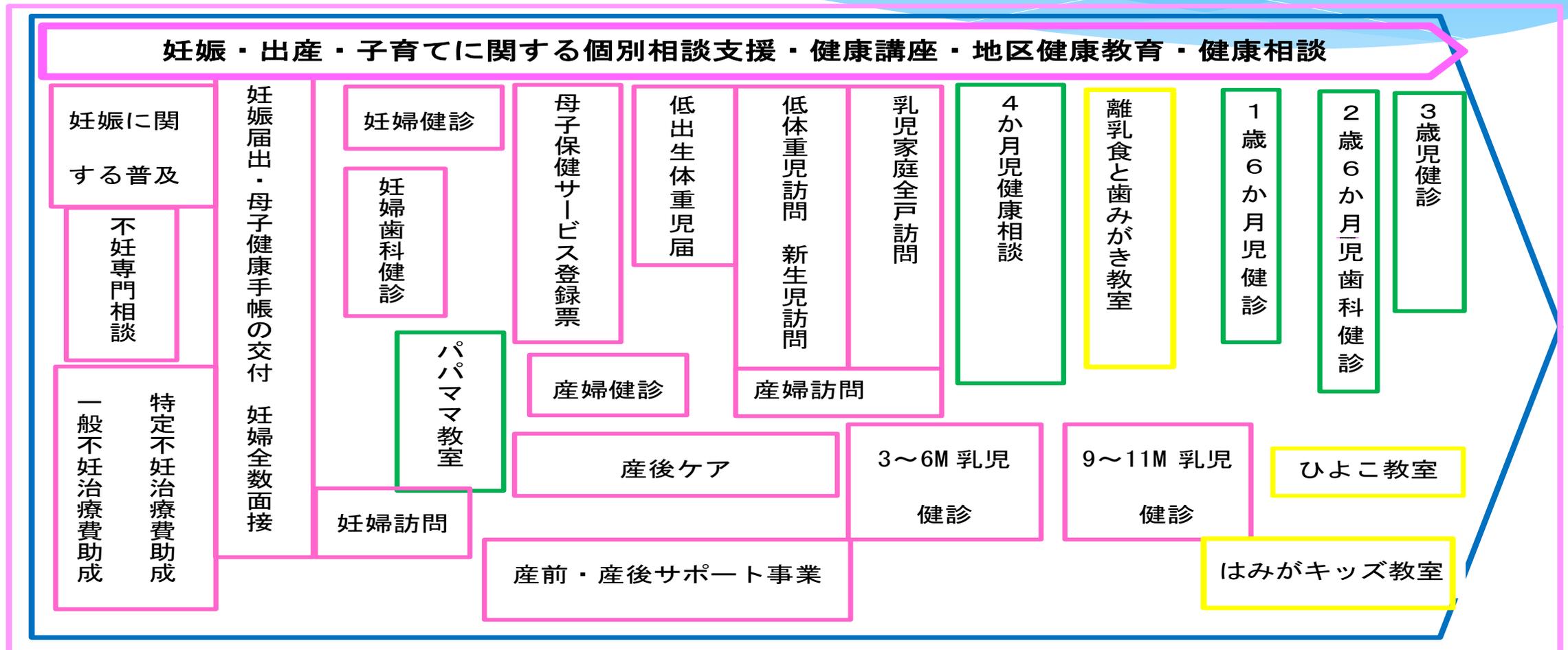


	4月	5月	6月	7月	8月	9月
感染者数	471	520	338	1,593	4,796	1,014
妊婦(再掲)	3	4	3	4	28	6
10歳未満(再掲)	16	13	15	89	271	67
10代(再掲)	33	49	24	135	662	91

# 5.コロナ禍における各団体の活動及び対応状況について

## 就学前までの母子保健事業一覧(令和3年9月末現在)

事業名の枠の色 桃色:継続又は再開 緑色:縮小して実施又は再開 黄色:実施見合わせ中



## 5. コロナ禍における各団体の活動及び対応状況について

### ◆ 経験のない感染症の急激な拡大に伴い混乱が生じた

- 母子担当→事業の中止、再開の判断。感対策。
- 医療現場→コロナウイルス感染者、感染疑染いの者を受け入れる際の感対策。（妊婦は特に）
- 住民 →外出自粛からくる、孤独な育児による育児ストレス、育児不安の増大や虐待の増加、経験不足からくる発育発達の遅れの懸念  
ビザ切れの外国籍妊婦の増加

### ◆ 母子保健業務の遂行に係る課題

- 集団健診、体験学習と感対策の両立
- ICT活用のための知識不足、機器不足
- 人員不足

## 5. コロナ禍における各団体の活動及び対応状況について

団体名	発言内容
校長会	給食の状況。音楽と体育の授業が困難。オンライン授業による学習効果の向上と意欲継続の難しさ。
養護教諭部会	定期健康診断は実施。学校行事の中止や延期（修学旅行や外部講師を招いての講演会、職場体験）。
医師会（小児科医）	運動不足が際立っている。肥満が増加傾向。感染者の情報システムは状況把握に有効。
医師会（小児科医）	ワクチン接種勧奨。運動不足の影響。生活の乱れと気力の低下。不定愁訴や学校にいけない児の増加。保育園児の健診では、例年より幼い印象・体幹の力がついていない。
医師会（産科医）	感染妊婦の受け入れ先がなかった。個人施設の多い産科施設が、医療者側が感染により休診となった場合の妊婦の受け入れ先の問題。
医師会（総合病院産科医）	コロナ感染の妊婦の受け入れのための病床確保と、それに伴う外来や入院制限。一般の妊婦がハイリスクになってしまう状況と。
幼稚園連合会	保育の現場は4密（密閉・密集・密接・密着）。感染流行時の閉園の判断の苦慮とそれに伴う保育料の無償化の問題。
歯科医師会（歯科医）	歯科診療所での感染対策。（もともと環境整っているためしっかり活用。オゾン消毒追加）
栄養士会	子ども食堂での体験（食事回数が減っている児童）。フードバンクの食材配布の増加。
助産師会	初発症状が発熱の乳腺炎の相談対応の遅れ。訪問拒否と、逆に滞在時間が長くなる場合の対応。
民生児童委員	相談対応時の発言に気を払う。（例えば「ワクチン接種をする・しない」等、人によって考え方はさまざま。）

ご清聴ありがとうございました